

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

【大会運営について】

- 正門（南門）の開場は6：30、裏門（北側）は6：40
- 競技場自動ドア、マラソンゲート、多目的ゲート、農具庫ゲートの開門は7：00
 - ※競技場自動ドア以外の門は競技役員が開場対応する。
 - ※各学校陣地については事前に決めておく。
- メインスタンド、コンコースを解放する。横断幕等は設置しない。
- 会場の収容人数の半分以上、かつ客席の間隔を1m以上確保できる場合に限り、登録選手1名に保護者1名（兄弟姉妹は不可）、自分の子どものレースのみ観戦を可とする。ADで管理する。ただし、収容人数の半数を超えた場合には、入場制限をする。
- 観戦希望者は専用受付で「観戦申請書」を提出する。「観戦申請書」は、事前に各学校から配付することとし、会場で当日配付は行わない。観客は受付で検温し、37.5℃以上は入場不可とする。
- 学校長もしくは学校長に代わる者の入場を認める（名札を着用）
- 開閉会式は実施しない。（表彰も実施しない）
- 各校陣地設置に伴い陣地間は最低2mのソーシャルディスタンスを確保する。
- 他校の陣地には行かない。
- 自校の陣地内でも密集にならないように注意する。
- プログラムの記載事項の変更・訂正及び棄権については事前に報告する。
- 大会は役員、学校関係者、選手及び補助員の入場可。観戦者のスタンド（芝生スタンドは不可）への入場は人数制限をする。
- 生徒補助役員はマスク（必要に応じて使い捨て手袋）を着用する。
- 競技役員は競技役員受付で当日の検温を申告する。37.5℃以上の場合に従事を認めない。
- 競技役員への連絡事項はプロ編時に周知し、当日の打合せは可能な限り短縮して行う。
- 全ての大会関係者はマスク又はフェイスシールドを必ず着用する。但し、競技中の選手についてはマスクの着用はしなくても良い。マスクは各自で持ち帰り破棄する。
- 競技役員への水分補給は用意はするが、各自でも持参する。お弁当とお茶は提供する。
- 更衣室は使用禁止とする。荷物の管理は各自で責任をもつこと。
- 競技場の換気をするために全ての窓は開放する。
- 大会関係者・選手が使用する各部屋やトイレなどはこまめに消毒をする。
- 競技場内の水道に石鹸を用意し選手、競技役員の手洗い場とする。
- 選手控え場所は、芝生スタンド、陸上競技場周辺とする。ソーシャルディスタンスを保つこと。
- 記録の発表は、アナウンスのみとする。記録の掲示はしない。
- 競技終了後、多くの選手が使用した用器具については消毒を行う。
- 朝の送迎での乗降は正門前で生徒を速やかに降ろすか、正門入って右の奥の大駐車所で降ろす。大駐車場で降ろした場合、出口は裏門を使用し、一方通行になるようにする。

【競技運営について】

- 顧問はJAAF健康管理チェックシート(大会1週間前から前日まで)の検温と体調チェック)を出場選手分をまとめて提出する。未提出者については参加することはできない。
- 選手は競技中やウォーミングアップ以外はマスクを着用すること。
- 招集については招集所を設けず、現地招集とする。
 - トラック種目は競技開始15分前～10分前に招集を受け、レーンナンバーを受け取り右腰に付ける。
 - フィールド種目は棒高跳びのみ競技開始60分前までに招集完了とする。その他は15分前までに招集完了する。
 - 招集完了時間に遅れた競技者は棄権とみなし出場を認めない。
- 応援については声を出しての応援や拍手等での応援もなし。
- トラック競技でスターティングブロックを使用する種目に出場する選手は、設置前に主催者で用意したアルコール消毒液(ジェル)で手指をアルコール消毒する。
- 長距離種目については出場人数を確認し、密にならない程度の人数で番組編成を行う。
- トラック競技はレース終了後、レーンナンバーを外しかごに入れる。その後、第1コーナー付近に主催者が用意したアルコール消毒液(ジェル)で手指をアルコール消毒し、スタート付近に戻り荷物を持って陣地に戻る。
- フィールド種目については競技終了後、各ピットに主催者が用意したアルコール消毒液(ジェル)で手指をアルコール消毒し、荷物を持って陣地に戻る。
- 砲丸投については試技毎にアルコール消毒液で手指消毒を行う。
- 選手の付き添いは原則無しで荷物の管理は自分で行う。ゴール後、スタート地点に戻るときは、本部前は通らず、芝生の所を回って戻るか、スパイクを脱いでメインスタンド裏を通って戻る。その際、走幅跳の競技を行っている時は走幅跳の選手の待機場所を通らないで戻る。
- 選手のテントは設置しないが、雨天の場合のみ、棒高跳び1張、走り幅跳び1張ずつ、走高跳1張、砲丸投げ1張の計5張を設置する。
- 男子3000m、男女200m、男子400m、男女800m、男女1500m、男女ハードル男女400mRについては、タイムレース決勝とする。
- 走幅跳・砲丸投についてはトップ8を実施する。
- 棒高跳・砲丸投で使用する滑り止めは主催者では用意しない。各自で準備する。滑り止めを他人と共有はしない。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会を運営していきませんが、それでも100%の感染防止をするとお約束することは難しいと思われます。万が一、新型コロナウイルスに感染してしまっても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。